

愛知県高校生訪問団広東省派遣事業報告書

Aichi-Guangdong High School Student
Exchange Program 2018 Report

愛知県立千種高等学校・平井里緒菜

①はじめに

私は今回の派遣事業で多くの経験を通じ、実際に中国・広東省に行くことで広東省とそこに住む人の良さを学ぶことができました。

そしてその中で特に印象に残ったことをまとめていきたいと思います。

②順徳華僑中学（高校）訪問

滞在3日目に順徳華僑高校を訪問しました。この学校は全寮制で12歳から寮に入って生活をしているそうです。日本には公立の学校でしかも中学生から寮に入るといったことはないのが驚きました。

日本人の私たちのことをとても歓迎してくれました。一緒に書道や体育の授業を受けたり、日本の学食とは違ったビュッフェ形式のお昼を食べたり、最後にはお互いの学校から様々な出し物をしました。日本のアニメのクイズは大盛りで更に中国の演劇部の子たちが日本のアニメのコスプレを披露してくれました。やはり日本のアニメや漫画は日本内外で多くの人に人気なのだと思いました。また、多くの生徒が日本人の私たちに写真を一緒に撮ろうとか連絡先を交換してほしいなど話しかけてくれました。頑張って英語や日本語をしゃべってくれたのが嬉しかったです。仲良くなりたい、もっと話がしたいとお互い思うことで言葉や心が通じるようになったと思います。



③ ホームステイ

ホームステイ先でも学校と同様にとても歓迎してくれました。3人家族で流ちょうな英語ではなかったけれどコミュニケーションをとるには問題なく過ごせました。まず初日に中国の様々なことを教えてもらいました。時には私も日本のことについても話すことができました。それにより、打ち解け合うことができました。

中国料理のレストランに行った際には、コップにお茶を注いでもらったら2又は3本の指を曲げて3回テーブルを叩くとありがとうという意味で中国の食事のマナーだと教えてもらいました。実際に体験して中国のマナーを学ぶことができました。中国では食事中は家族や仲間と楽しくお喋りをしながら食べ、その際に話を途切らせることなく指で挨拶をするマナーがあることを知りました。

ホームステイ二日目には Qinghui Garden や順峰山公園、中国のスイーツが食べられるお店やその日の夜ご飯の食材を買いに観光市場というマーケットに連れて行ってもらいました。どこも中国でしかできないような体験ができて心に残っています。その中でも特に印象深かったのはマーケットです。果物、野菜、肉、魚や乾物まで様々なものが売られている大きな市場でした。そこで売られているものはすべて新鮮で安く驚きました。日本では売られていなかったり、値段が高いフルーツも中国ではとても安く私が羨ましいと言うとホストマザーが7種類ものフルーツを買ってくれました。また、魚屋さんでは魚が水槽から飛び出して私の足の上に飛び出てくるくらい新鮮で勢いがありました。その日の夜ご飯はその魚を調理して食べました。一緒に料理をして中国の家庭料理などをたくさん教えてもらいました。日本の食卓にあるものとは異なりますが、とてもおいしかったです。



そして3日目にホストファミリーと学校で別れる時、私は短かったけれど内容がぎっしりと詰まった時間と温かい家族のもてなしを思い出し別れがとても悲しくなりました。でも、日本に絶対に遊びに行くねと言ってくれたので次は私が日本で色々なところを紹介したいと思います。そして次に会うときまでに私が中国を勉強して話せるようになるという目標ができました。そして、もっとたくさん話がしたいと思いました。帰国後もファミリーとはWechat（中国版 LINE のようなもの）で連絡を取り合っています。



Zhou's family♥

④驚いたこと

レストランやスーパー、市場などどこに行っても WECHAT の QR コードがあり、それをケータイで読み取りお会計をしていました。また、中国では若い人だけではなくほとんどの人が使っていて財布を持ち歩かなくてもよいから本当に楽だと言っていました。私のホストファミリーも子供が寮に住んでいて自分で何か買うときは全て WECHAT で買えるから安心だと言っていました。

日本でも最近はケータイで支払えるところが増えてはいるけど中国ほど幅広い世代に広まっているわけではないので驚きました。中国の新しいものをすぐに取り入れる姿勢に感心しました。



④最後に

中国・広東省での6日間で様々なことを肌で経験することができました。ニュースなど画面越しで見ているところとは全然違い、やはり現地に実際に来てみないと分からないことが沢山あるのだなと思いました。ニュースで中国はPM2.5の影響による空気の汚染などがよく報道されているのを見ていて勝手に自分で中国ではどこでも空気が汚染されていると思っていたけれど、広東省は日本と同じくらい空気がきれいいて快適に生活することができました。

また中国人は日本人と違う文化を持ち、違う言語を話す国民であるのだから日本人と比べて違うのは当たり前でそれを批判したりするのではなく受け入れてお互いに更に理解し合うことが出来たら異文化理解への第一歩なのではないかなと思いました。

ホストファミリーや順徳華僑中学の生徒を含め、本当に優しく親切な人ばかりでした。何度も私が中国語が話せたらこの会話には入れたなと思うことや、英語があまり分からない人にも伝えられたのになど悔しく思うことがあったので今学校で取っている第二外国語の授業での中国語を身につけたいと思います。また、中国の人は本当に勤勉な人が多く日本人の私は甘えていると思い知りました。

現地で自分で見て聞いて嗅いで食べて触って感じたことは、ネットの情報やガイドブックを見るだけでは知ることができないとても貴重な経験ができました。これからの自分の将来に生かしていきたいと思います。そして、この派遣事業に参加できたことに感謝したいと思います。ありがとうございました。



木棉 (キワタ)

広州市の市花



谢谢・ありがとう・THANK YOU

Aichi-Guandong High School Student Exchange Program 2018 Report

愛知県立中村高等学校 高雄茉莉

【1日目】



私は初め、中国という国に行くことに少し不安を感じていました。小学生の頃に一度中国に行ったことはあったのですがそのときはあまりいい印象がなく、正直なところ楽しみ半分、心配半分といった感じでした。



しかし現地についたとき、私はその景観の美しさにとっても驚きました。高層ビルがびっしりと立ち並び、住宅地もヨーロッパみたいにかっこ良かったです。木々も多くて自然とかけ離れているわけでもなく、なんとなく雰囲気がお

っとりとした感じの街で、私は中国にこんないい場所があったんだ！と初日にして、私の固定概念は覆されました。

また、気がかりだった食事も、とてもおいしくて安心しました。ターンテーブルを使うことや料理はなんとなくお肉がメインであるということを知りました。



【2日目】



午前には2つの博物館に行って、国際交流の記念品や昔の王のお墓などを見て、とても勉強になりました。

午後は「広州市都市計画展覧センター」に行きました。この場所はホームステイや高校訪問の次くらいに楽しかった場所です。私はここで車のレースゲームをしたのですが、これが最高に楽しかったです。スピードを出せば出すほどシートが揺れ動くよ



うになっていて、何度か落ちてしまいそうになりました。他にも、乗り物に乗ってモニターで広州市の街を探検するようなものもありました。それはまるでUSJのアトラクションのようで、とてもワクワクしました。また、展示してある



ものの1つ1つが近未来的でした。広州市が現在どんな所なのか、またこれからどうなっていくのかを知ることができました。

最後に「広州タワー」に行きました。高さ600mのテレビ塔で、日本でいう東京スカイツリーのようなものですが、私は見た目が広州タワーの方がかっこいいと思いました。のぼって広州の街を見渡すとやはり高層ビルが非常に多く、改めて栄えてる街だなと思いました。



【3日目】

「佛山市順徳華橋中学」に訪問しました。書道と体育の授業に参加させていただきました。



書道の授業では、隣の男子がとても親切で筆の持ち方を一生懸命教えてくれて、私はとても嬉しかったです。

そして一番大きなイベントである体育館での交流会が行われました。私が担当した日本のアニメクイズでは、始まる前はうまくできるか、みんなが楽しんでくれるかすごく不安でした。でもみんなすっごく盛り上がってくれてとても安心しました。また、アニメのイラストを見せた瞬間の歓声が



すごくて、みんな日本のアニメが本当に好きなんだなと思い、嬉しくなりました。私は昔から人前で何かをやるということが苦手で、3問目で私が問題を読み上げる番のときは本当に緊張しました。でも、終わった後はあんなに大勢の人の前でやり遂げることができたという達成感がありました。他の子たちがやっていた浴衣の着付けやみんなで踊ったパブリーダンスも盛大に盛り上がりました。また、中国側の方々の出し物もすごくて、カッコいいダンスやアニメのコスプレなど、見ていてとても楽しかったです。



【4日目】



まず驚いたのは、ホームステイ先の家の広さです。4階建てで、各個室にシャワールームとトイレと洗面所があってまさに豪邸でした。バディのアスナと彼女の弟くんが2人、そして父、母、祖父、祖母という7人家族で、私のことを大変よろしく受け入れてくれました。また、2人の弟くんたちは本当に可愛くてとても癒されました。



午前は中国十大庭園のひとつである「清暉園（せいきえん）」というところに行きました。池や滝、岩がけなどでつくられた庭園はまさに昔の王族の庭のようでした。

午後は私とアスナと谷澤桃子ちゃんと彼女のバディ、また順徳華橋中学の2人の生徒の計6人で「順峰山公園」に行きました。とてつもなく広大な公園で、



木々がたくさん立ち並び、自然を肌で感じることができました。また、公園で貸し出ししている2人乗り自転車を借りて公園内をサイクリングしました。風が気持ちよく、どこを見ても美しい景色ばかりで、心が和みました。また、順徳名物である「広東式ミルクプリン」を食べました。ミルクがとても濃厚でおいしかったです。

食事はその日の夜だけは家で食べました。外食で出るような料理がテーブルいっぱいになんともおいしかったです。親戚なのか、近所の人なのかよくわからない人も何人かいて、食事中はとても賑やかでした。



【5日目】

ホストファミリーとのお別れの日になってしまいました。ホームステイで過ごした2



日間があまりに素敵な時間だったので、私は別れ際に泣いてしまいました。ホストファミリーのみなさん、こんな私によくしてくださって本当にありがとうございました。

午後は広東外語外貿大学の日本人留学生との交流をしました。実際に留学されている方々のお話は本当に参考になりました。



【6日目】

企業訪問をさせていただきました。私が一番印象に残ったのは、「広州励豊文化科技股份有限公司」という企業です。



BIGBANGのライブを再現したシアターはすごくリアルでした。また、タブレット端末の操作によって普通の話し声がミュージカルのような響く声になったりする施設や、無音室という部屋に行ったりもしました。私はこのような進んだ技術にとっても感銘を受けました。



【最後に】

この7日間は1日1日が本当に充実していて、夢のような時間でした。私は中国の広州市という街が大好きになったので、たくさんの人に中国にはこんな素敵な街があるということを知ってほしいと思いました。だから自分でも、友達や周りの人に発信していけたらと思います。

また、中国の友達もたくさんできました。ですが、英語でうまく伝わらないこともあって Wechat の翻訳機能に頼ることが何度ありました。私は、隣にいるのに文字で伝えなければならないことにもどかしさを感じました。実際に話せる、使える英語というのを身につけていきたいと心から思いました。

バディのアスナとホストファミリーのみなさん、また中国でできた友達とはこれからもずっと交流を続けていきたいです。

そして、今回の事業に携わってくださった方々と11人の仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



愛知県高校生訪問団広東省派遣事業報告書

愛知県立瀬戸西高等学校 服部可歩

はじめに

今回の広東省派遣は私にとって初めての海外への訪問でした。全ての体験がとても新鮮でした。この訪問でたくさんの忘れられない思い出ができました。



DAY1

初めての海外だったのでとても緊張しました。機内食は納豆やそばなどの日本食が出ました。訪問したときの広東省の日中の気温は、平均24°前後で湿度が高く、蒸し暑かったです。沙面にあるホテルへ向かうときに高速道路を使用しました。その高速道路から見える景色は、ピンクやオレンジの色をしている高層マンションや華やかな電光掲示板などが付いているショッピングモールなど、日本とは違いました。中国四大料理の一つとされている広東料理を本場で食べることができて嬉しかったです。日本人の口に合っていてとても美味しかったです。日本の中華料理の味付けとは違い薄味でさっぱりとしていました。

DAY2

外事博物館では世界各国から贈呈された記念品が飾られていました。日本が送ったとされる記念品は漆器花瓶や富士山の絵、羽子板などでした。羽子板の絵柄は、布で舞妓さんを表現していてとても日本らしい贈り物だと思いました。広東省外事弁公室副巡視員がお出迎えしてくれました。その方は日本語が上手で代表あいさつでも日本語で喋っておられました。日本との交流をととても喜んでくださって嬉しかったです。外事弁公室の会談をする部屋にある仕切りは、鳥や花の模様がすべて刺繍で、細かいと





ころまで繊細に表現されていて驚きました。お昼は中華大酒店という有名な中華料理店に行きました。酢豚と麻婆豆腐が一番おいしかったです。麻婆豆腐は甘口だったらしく、今度は辛口にも挑戦してみたいと思いました。そこで餃子を作る体験をしました。

皮を伸ばすところからしました。普段出来上がった皮に具を包むところからしか作ったことがなかったので、皮を綺麗に丸形に伸ばすのがとても大変で難しかったです。シェフが何度もコツを教えてくださいましたが、最後の最後まで綺麗にできなかったのが悔しかったです。日本の餃子は焼くのが一般的ですが、中国の餃子は蒸したり茹でたりすることが多いそうです。いびつな形ばかりでしたが、自分たちで作ったので、いつも食べる餃子よりもおいしかったです。



DAY3

順徳華僑中学校を訪問しました。校舎の中心には池があり鯉が泳いでいたり、運動場がすべて芝生だったり、全寮制だったり、中国の学校は全てにおいてスケールが大きかったです。門をくぐれば、電光掲示板に日本語で祝福の言葉が書いてありました。授業体験では書道と体育に参加しました。書道ではこれからも広東省と愛知県の関係が上手いきますよという意味を込めて「永」という漢字を書いて席の隣の子と交換しました。



歓迎座談会ではお互いに出し物をしました。私はクイズ担当で日本のアニメのクイズを出しました。少し簡単だったかなとも思いましたが、とても盛り上がったので嬉しかったです。順徳華僑中学校の生徒たちはダンスを踊ってくれたり、中国武術を披露してくれたり、日本のアニメやゲームのコスプレをしてくれた

り、とても楽しかったです。出番の関係で伝統的なお面をかぶった舞を舞台裏でしか見ることができなかつたのが残念でした。



学校終わりに今回お世話になるホストファミリーに会いました。ペアの locky はとても英語が上手で明るく、気配りができて、私の荷物を持ってくれたりと、緊張していた私に気さくに話かけてくれました。ホストファミリーは広東語しか喋れないので、彼女が通訳をしてくれました。夕食は、ホストファミリーと一緒に親戚が経営している中華料理店へ行きました。魚料理や肉料理、野菜料理などいっぱいだしてくれました。たくさんありすぎて全部食べることができなかつたのが申し訳なかつたです。初めて甘い中国茶に挑戦しました。私には甘すぎてあまり得意ではなかつたです。

夜は彼女と日本のアニメについて語ったり、他の家でホームステイをしている友達とビデオ通話しました。中国では日本のアニメはとても人気で、彼女も日本のアニメが好きだと言っていました。「ワンピース」、「東京喰種」、「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」が特に好きとのことで、好きなキャラクターや名場面などの話で盛り上がりました。

DAY4

ホストファザーとホストマザーは料理店を営んでいて朝から家にいません。だから朝は自分たちで起きないといけないけど、お互い朝が苦手なので起きるのが大変でした。朝食はホストファザーとホストマザーのお店に食べに行きました。ホストファザーとホストマザーの作ったお粥とエビの入ったワンタン



は今まで食べた中華料理のなかで一番おいしかったです。彼女といちご狩りに行く予定でしたが、道に迷っていたドイツ人に話かけたことから、意気投合して、朝食を一緒に食べたり、世間話などをしていたら、時間が経ってしまい、結局行



けなくなっていました。予定変更して、午後はショッピングに行きました。お土産や服を買ったりしました。中国のスターバックスにも挑戦しました。日本よりも値段は高かったけどザクザクの氷があまり入ってなかったので私は中国のスターバックスの方が好きでした。市バスにも乗りました。2元(約34円)でどこまででも行けるのがす

ごいと思いました。ビデオ電話を一緒にした友達も一緒にイオンに行きました。10元セールをしていてとても混んでいました。食べ物がとても安く、たくさん買ってしまいました。そこには日本食コーナーもあり、そばや日本のお菓子、白い恋人が売っていました。帰りにアイスを買って、みんなでシェアしました。安いのにとても美味しかったです。帰りはmobikeというレンタル自転車で自然を感じながら帰りました。蒸し暑かったけど自転車で走る風が気持ちよかったです。中国の道路は直角に曲がる場所が少なく、曲線が多く、曲がる時に車とぶつかりそうになり、慣れるまで少し怖かったです。



夕食はおばあちゃんが作ってくれました。おばあちゃんもおじいちゃんも広東語しか喋れないけど、これ食べてね!と声をかけてくれたり優しくしてくれました。明日でここを離れてしまうなんて実感もなく、ドライフルーツのイチゴを食べながら日本と中国の生活などの違いについて夜遅くまで話しました。中国の学校は寮暮らしで、朝の6時に起きて夜の10時まで学校があって11時に就寝だそうです。夜の10時まで学校があるなんてびっくりしました。病院も小さいところなら夜の10時までやっていて薬剤師と看護師で一人の役割だそうです。日本のことをいろいろ話したらとてもびっくりしていました。日本のある学校では授業にスマートフォンを使うと教えたら一番びっくりしていました。

DAY5

前日に夜更かしをしてしまったので二人とも全然起きることができなかつたです。朝食はホストファザーとホストマザーの料理店にお粥を食べに行きました。会えるのが最後だったので仕事の手を止めてくれて、一緒に写真を撮ってくれました。ホストマザーは「忙しくて全然一緒にいてあげる時間が全然なくてごめ

んね。あなたは私達の娘で家族の一員だよ。またいつでも遊びにおいで！！今度来たときはもっとあなたと一緒にいられる時間を増やすわ。」と言ってハグをしてくれました。涙が止まらなかったです。集合時間より早く着いたので locky と一緒にバスケットボールやサッカーをしたり、学校探検をしました。もっと色々な話をしたかったのに、とうとうお別れの時間がきてしまいました。locky とハグをしてさようならをしたときには涙が溢れてきてしまいました。私が泣いていたのを見て彼女も泣いてしまいました。初めてのホームステイで、英語もうまく伝わらないときもあったし、ホストファザーとホストマザーとは通訳がいないと喋れなかったけど心が通じ合ったような気がしました。ホストファミリーはいつも優しくて素晴らしいおもてなしをしてくれました。これから何年たってもずっと連絡を続けられるといいなと思いました。私の初めてのホストファミリーが locky のファミリーで本当に良かったです。



広東外語留大学に留学している立命館大学の学生の方と交流しました。私はそこで留学の種類にもいろんな種類があると知りました。キャンパスアジア・プログラムに応募したきっかけや広東省にきて良かったことや困ったことなどこれからの役立つ情報がいろいろ聞けてよかったです。

DAY6

億航無人機有限公司の会社と広州励豊文化科技有限公司と広州桜泰汽車飾件を訪問しました。その中でもドローンを開発している億航無人機有限公司が印象的でした。日本でもドローンは人気になりつつあり私も興味がありました。ドローンは VR のときに使うようなゴーグルと iPhone のアプリを使います。最新技術を使って



いて凄く惹かれました。ドローンを開発することになったきっかけは、昔、航空機で怪我をしてしまい、安全な乗り物を作りたいと思ったことだそうです。無人機の中に乗せてもらったり、ドローンを操作させてもらったり楽しかったです。社会人になってお金を稼げるようになったら、このドローンを買いたいと思いました。

最後に

今回の広東省派遣に参加して一週間と短い時間でしたが、語学面に関してもコミュニケーション面に関しても、とても成長できたと思います。普段、外国の人と関わる機会がなかなかないので、身近にずっと海外の人がいるのがとても新鮮でいい経験になりました。広東省の方はとても優しく、気さくな人が多いです。すれ違ったり、お店に入ったりすると、他のお客さんからも「こんにちは」と英語や日本語で話しかけてくれました。海外が初めてで不安だった気持はすぐになくなり、それはとてもありがたく、嬉しかったです。今度、広東省や他の国に訪れるときにはもっと英語が話せるようになっていよう頑張ります。このような素晴らしい事業に参加する機会をくださり、本当に感謝しています。ありがとうございました。





愛知県・広東省 高校生交流事業

2018 3/21 - 27

愛知県立尾北高等学校

青山 琴海

<1日目>

朝7:25に中部国際空港に集合。

誰ひとり遅れることなく、集合できた。

みんな2回目の対面で少し緊張気味。

上海浦東国際空港で一度入国審査をしてから

広州白雲国際空港に到着。

この日は、ホテルにチェックインしてゆっくり過ごす。



<2日目>

外事博物館視察。

広東省と世界の国々との交流を学んだ。

その国々特有の伝統工芸品ばかりで、日本の贈呈品も、多かった。

その後、広東省外事弁公室副巡視員表敬訪問、礼賓府視察。

会談スペースの椅子に座ったり、写真を撮った。

お土産として虎のキーホルダーをいただいた。



南越王墓博物館視察。



ベトナムから広東省を含む中国南部の当時の暮らしや、制度を学ぶ。

当時の人びとが工夫して埋葬品を埋めていたことがわかり、驚い

た。

当時は王が死んだら周りも生き埋めだと知り、残酷な時代だったのだと感じた。

昼食はみんなで餃子を作った。生地を広げるところからやり、餡を包むという工程はとても難しかった。

出来上がった餃子はとてもおいしかった。

広州市都市計画展覽センター視察。

初めて4Dを体験した。日本よりも技術が発展していると感じた。センターの中の施設はすべて近未来的だった。地域の何十年後を予想し形にしているので遠い未来でも想像しやすかった。

広東タワー視察。

高さ600mあり私たちは108階の433.2mまで行った。そこからの景色はとてもきれいだった。



夕食をレストランで食べ、ホテルに戻ってから、ひとつの部屋に集まり明日の高校での出し物であるダンスの練習をした。

< 3 日目 >

順徳華僑中学校（高校）訪問。

最初に校内を案内してもらおう。その後、書道の授業に参加する。中国語がわからない私のために隣の男子生徒が英語に訳して教えてくれる。



生徒みんなで”永”を筆で書き隣の中国人生徒と交換した。隣の男子生徒は恥ずかしがり屋だったけど、とても優しくかった。次は体育の授業に参加した。私は、バスケットボールのクラスに参加。みんな英語で話しかけてくれたり教えてくれたりした。



その後、学校近くの図書館や資料館に行った。学生は時々その図書館で勉強するといっていた。

学校の体育館に入り、出し物を行う前に私は英語でスピーチをした。とても緊張した。



私たちは浴衣の着付け、クイズ、バブリーダンスを発表した。着付けをした子はとても喜んでくれて私もうれしかった。どの出し物も盛り上がって楽しかった。



その後ホストファミリーのお家に行き、夕飯を食べに行った。イルミネーションがきれいな道をホストの Sitong と散歩した。



< 4 日 目 >

朝 7 : 3 0 に起床。

朝ご飯を食べに行く。朝の料理は甘いものが多いと感じた。公園へ行ってお散歩してから Lucky city というショッピングセンターで買い物をした。

Sitong と私は昼食にピザを食べた。



違うホストのところに泊まっている、かほと host の Locky と公園からイオンに行ってショッピングをした。

そこには日本食も売っていたけど日本よりも値段が高かった。

2人とは別れて、バスで家に帰った。その後に Sitong に



浴衣を着せてあげた。とても似合っていてかわいかった。



そこへ、Sitong のいとこ Jun が来て一緒に夕飯を食べた。そこから、3人で映画館に行って Tomb Raider を見た。家に帰ると Jun の両親がいて挨拶をした。

Host parents から万年筆をもらって、Jun からノートと菓をもらった。



< 5 日目 >

朝食後、私が日本から持ってきたお抹茶と茶筌でお抹茶をたてる体験をしてもらった。



家を出て学校に向かう。学校の前で Host family と写真を撮る。Host と離れたくなくて学校についたときみんなの顔が暗かった。

バスに乗る前、学校の寮に泊まっている生徒たちがベランダから手を振ってくれたり、拍手をしてくれたりしてくれた。



バスに乗ってから広東外語外貿大学に訪問。

日本人留学生と交流した。大学生の生徒さんたちは立命館大学の方たちで、自身が参加しているプログラムについて



詳しく教えてくださったり、私の留学に対しての不安を親身になって聞いてくださった。

夕食を食べてホテルにもどってから、友達と一緒に Host family の話をした。

< 6 日目 >

億航無人機訪問。

初めてドローンをスマホのアプリで操作できるように開発した会社。たくさんの形のドローンが置いてあった。屋上に行き実際にスマホアプリで操作した。Google もついておりその Google をつけるとドローンからの景色が見えるもので、自分が飛んでいるような感覚がした。



広州励豊文化科技股份有限公司訪問。

文化クリエイティブ産業に焦点を向け最先端のデジタルマルチメディア制御技術を使い観客に情報を届ける会社。タッチパネルひとつで部屋の性質を変えたり、音をすべて吸収する部屋があったりと全てが新しかった。



広州桜泰汽車飾件訪問。

愛知県の会社トヨタ紡織の海外法人。

現地に日本人は8人。自動車のシートや内装品の製造、販売を行っている。

工場内では気候などを考慮していたり社員が効率よく作業できるように工夫がたくさんされていた。女性もたくさん働いており、妊婦の方も椅子に座って行うなどの作業を行っていた。そこで、ミシン縫いを体験した。足のペダルで調節するタイプは初めてうまく縫うことが出来なかった。貴重な体験になった。



夕食を食べた後、近くの雑貨屋さんに行きみんなで買い物もした。少し英語が話せる女性の店員さんが商品の説明をしてくれてとても優しかった。私は安心してお土産を買うことが出来た。

仲いい友達同士でおそろいのポーチを買った。



< 7日目 >

最終日の朝、友達同士で早く起きて思い出作りをした。
初日から私たちの世話をしてくださった葛さんとホテル
でお別れをした。



バスに乗って空港近くのレストランで昼食をとった。
飛行機に乗って上海浦東国際空港で出国検査をしてから
中部国際空港に着いて解散した。

< 最後に >

今回の派遣事業に参加して中国のイメージがすごく変わった。
ニュースなどで報道される情報がすべてではない
ことを痛感した。百聞は一見に如かず。

本当にこのことだと思った。一週間というとても短い期間だったけど、多くのことを学び、多くの人と出会い、多くの体験をした今、私には何ができるだろうと考え、行動していきたいと思う。この経験を最大限に生かしていきたいと思っている。

今回の広東省派遣事業に参加できたことに、とても感謝しています。本当にありがとうございました。

愛知県高校生訪問団広東省派遣事業報告書

一宮西高等学校 笠島琴愛

“中国という国に対して、皆さんはどのような印象をもっていますか???”

こう質問された時。あなたは独断と偏見だけで、マイナスの面ばかり答えていませんか??
プラスの面を考えたことはあったでしょうか??

多くの人がマイナスの印象ばかり口にします。私はそれを耳にするたびに、やるせなさを感じていました。私達は中国について間違った情報を持っているのではないか、誤解しているのではないか。生活様式や考え方の違いなど、文化の違いを理解しようともせずに批判しているのではないか。このようには、考えられないでしょうか??私は、多くの人に、中国のプラスの面というものを知ってほしいのです。そして、中国という国への偏った見方を無くしてほしいのです。

Real な中国を、見てみませんか??私が訪れたのは、広大な中国のほんの一部分にすぎませんが…。みなさんが中国について考えるきっかけになることを願っています。

??広東省ってどんなところ??

位置：中国東、海沿いの南部

面積：179800 平方km （愛知県の約 35 倍）

人口：10999 万人 （愛知県の約 14 倍）



愛知県との関係も深い!!!

- ・「友好交流及び協力関係を発展させることに係る覚書」を締結
- ・愛知県の企業 134 社が進出し、204 拠点で事業展開

★広東外事博物館★

国際交流のなかで様々な国から贈られた記念品、土産物が展示されていました。

記念品や土産物は国ごとに様々で、広州だけでなく、他の国についても新たな発見がありました。日本からは、羽子板や人形などが贈られたようで、それらも展示されていました。

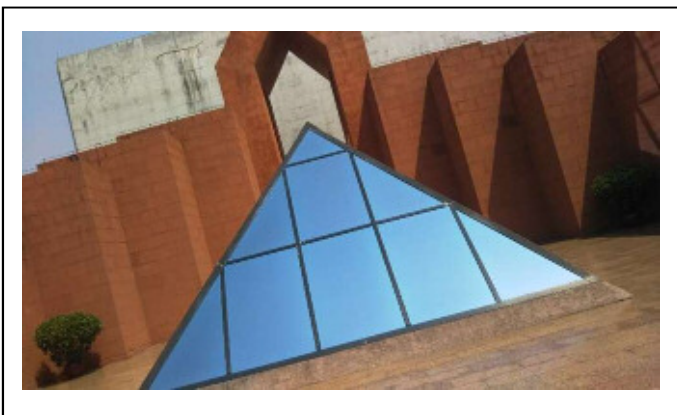


広東外事博物館にて

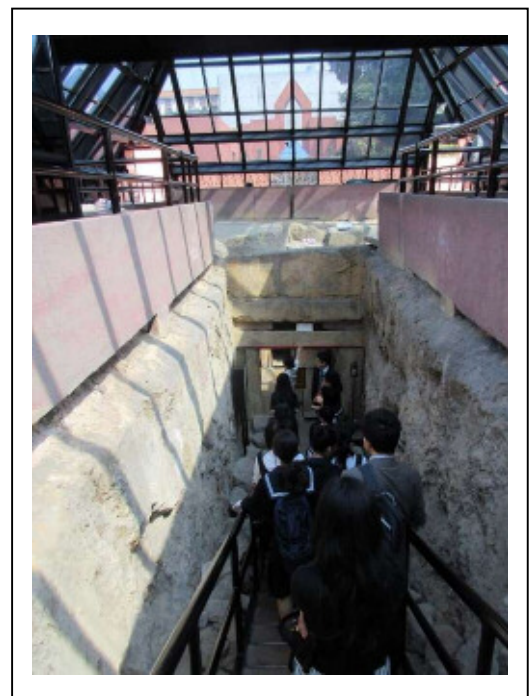
★西漢南越王墓博物館★

1983年に発見された南越国二代目の王の墓と、そこからの出土品が展示されている博物館です。出土品は一万点に達し、二千年前の南越国の政治、経済、文化の発展様相を反映しています。南越王墓は、中国の主要な考古学的発見の一つであり、1988年に「国家重点文物保护单位」（国家重点文化財）のリストに入っています。

南越王の墓の入り口の作りは、一度閉めたら外からは開けないように工夫されており、昔の人の知恵に驚きました。墓の中はいくつかの部屋に分かれており、宴会場や厨房のようなものと思われる部屋もありました。妻や何人かの使用人達は、王が亡くなった時共に墓に入り、殉死しました。殉死は、古代の日本やエジプトにも通じる文化ですね。考えると恐ろしいですが…。現代でも、国ごとに文化が違うように、現代と古代でも文化は違いますね。文化の違いを知ることは、とてもわくわくします！



西漢南越王墓博物館にて

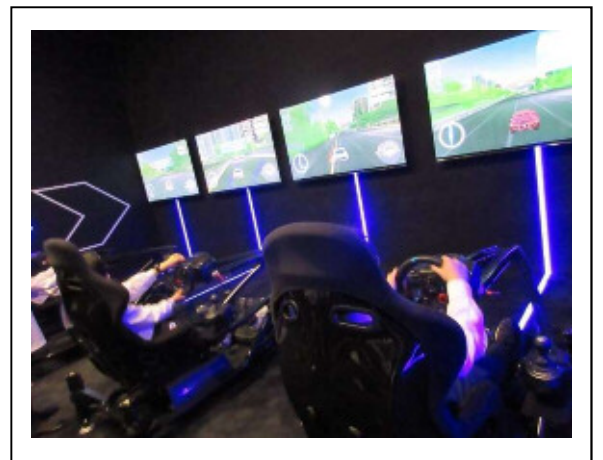
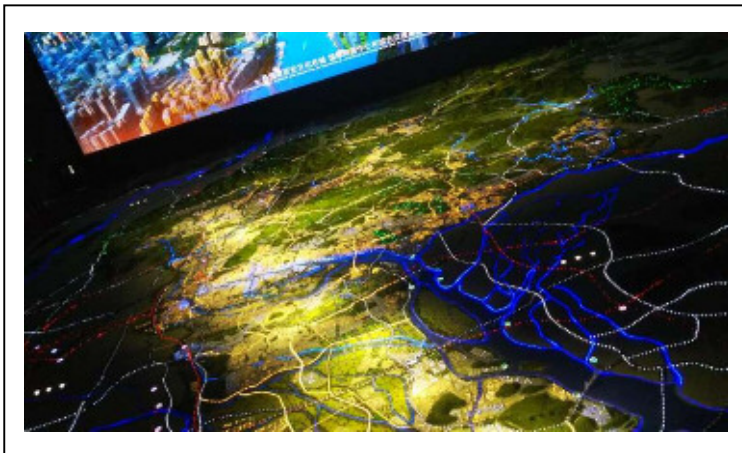


★広州市都市計画展覧センター★

広州の歴史がわかる展示物や広州の都市計画を説明した展示物がありました。絵や写真だけでなく、模型などもたくさん展示されており、中国語の読めない私でも楽しく見学することができました。広州の町全体の巨大なジオラマはスクリーンの映像とともにライトアップされており、一種の芸術作品のようでした。

また、展示物だけでなく、体験コーナーもありました。電車の運転を体験できるものや、車でのレースを体験できるもの（ゲームセンターに置いてあるマリオカートのようなものです）など、遊園地のアトラクション感覚で楽しめました。

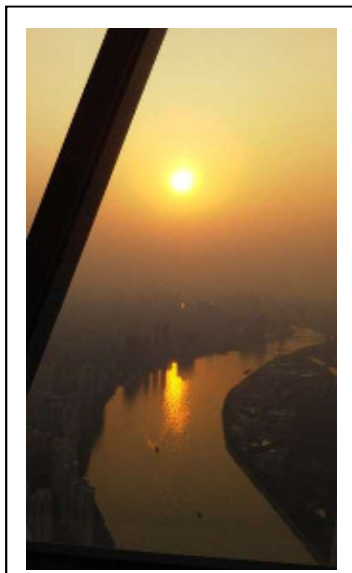
広州の歴史、都市計画、進んだ技術などを見て、聞いて、体験して楽しく学べる施設でした！



★広州タワー★

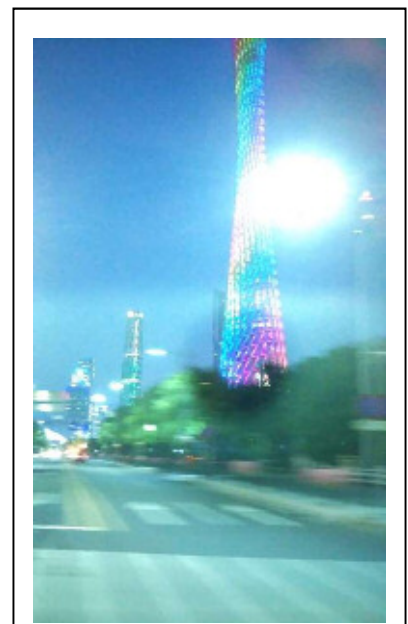
2009年9月に建てられた、全高600m、棟高454mのタワーです。一階から屋上まで五つのブロックに分かれていて、展望台だけでなく、様々な施設があります。屋上には世界一高い観覧車と、世界一高い位置にあるフリーフォールがあります。

私がタワーを訪れたのは夕方だったので、展望台から夕日を見ることができました。オレンジ色の夕日が川に映って、幻想的な雰囲気になっていました。夜は、虹色にライトアップされたタワーを外から見ました。レインボーに輝くタワーは、夜の広州の町でひととき大きな存在感を放っていました。本当に綺麗で、思わずうっとり！



夕方
タワーからの景色

夜
ライトアップされた景色



★佛山市順德華僑中學★

ホストファミリーが通う学校です。ここでは、書道の授業を体験したり、体育の授業を体験したりしました。書道は、日本とは筆の持ち方が少し違い、中国流の筆の持ち方で字を書くのは少し難しかったです。

また、昼食は食堂で食べました。バイキング形式になっており、生徒達は自分の好きな料理を取って食べていました。メニューはもちろん…。中国の料理です！！美味しかった！！そして、最後に、歓迎セレモニーを開いていただきました。バンドの演奏をしてくださったり、コスプレの衣装でダンスを披露してくださったりしました。日本のアニメや漫画などのポップカルチャーが中国でも愛されていることを知って、すごく嬉しかったです！もっともっと日本の文化が広まることを願っています。それとともに私達も、もっと沢山の中国の文化を知らねばなりませんね。一方通行のままでは、日本と中国の間に橋は架かりませんからね！



習字の授業にて



歓迎会にて



体育の授業にて

★ホームステイ★

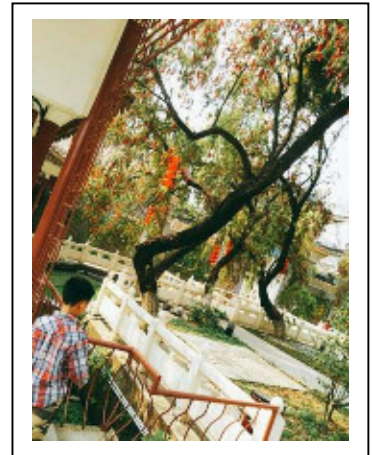
今回の派遣事業の中で一番多くのことを学び、感じ、経験しました。

私は中国語を話すことができません。ホストファミリーは日本語を話すことができません。コミュニケーションのツールは英語でした。私は英語を話すことが得意ではありませんが、身振り・手振りや表情などで相手に気持ちを伝えることができました。皆さんが思っているよりも簡単に、コミュニケーションをとることができるのです。大切なのは、相手と話したい、仲良くなりたいという気持ち、そして、相手の国の文化を尊重する気持ちだということをも身をもって感じました。ホストファミリーと過ごしたのは、二日間という短い時間でしたが、本当の家族のように仲良くなることができました！！ホストファミリーは本当に親切にしてくださり、感謝してもしきれません。本当に貴重な、忘れられない時間を過ごすことができました。

ホームステイを通して、海外の人とコミュニケーションをとる楽しさを知りました。もっと多くの海外の人と話してみたいです。そのために、英語をツールとして使えるようにし、異文化理解も深めていきたいです。

たくさんの魅力と優しさに溢れる広東省で過ごした一週間。何もかもが初めてで、あっという間に過ぎていきました。時が流れるのはあっという間でしたが、それ以上に多くの貴重な経験をすることができました。この事業に参加でき、本当に良かったです。参加していなければ、私の視野は今よりずっと狭いままであったと思います。今後も、視野を広げていきたいです。

ホームステイにて



最後に…。皆さん。

“中国という国に対して、皆さんはどのような印象をもっていますか???”

この問いに、なんと答えますか???

中国という国は、皆さんが思っている以上に魅力的な国です。歴史的な建物。色鮮やかな植物。ほっぺたがとろけてしまう料理。思いやりにあふれた人々。

あなたはそれでも、マイナスなイメージを持ち続けますか???

あなたはそれでも、先入観や偏見を持ち続けますか???

私は中国と日本の間に、たくさんの架け橋がかかることを願っています。